

ひのさと48 よんじゅうはち ビジネスキャンプ開講！

個人のひっさつわざを後押しすると、事業にイノベーションが起こる！？
宗像・日の里を舞台に事業や商品をいっしょに開発するセミオーダープログラム



さとづくり 48 プロジェクトでは、宗像・日の里を舞台にした、企業や団体向けの視察、研修、事業開発プログラム「ひのさと 48 ビジネスキャンプ」を開講いたします。2021年5月、解体予定だった団地棟のうち1棟を、地域の会話を増やす装置としてリノベーションした「ひのさと48」がオープン。約1年間、地域の方々とさまざまな対話をし、おせっかいくらいに深く関わりながら、たくさんの試行錯誤を積み重ねる中で、当初の予測を裏切るおもしろいイノベーションが起こっています。経済の成長が飽和し、価値観や生き方が多様化する時代の中で、企業や行政のあり方にも複雑な変化が求められ、今まさに全国の組織の中でさまざまな試行錯誤がおこなわれています。そんな方々に向けて、ここで得られたプロセスやナレッジを共有することで再現性を示唆し、いっしょに課題に取り組む場をつくるのが、広く社会貢献になるのではと考えました。そんな想いで開講するのが、この「ひのさと48 ビジネスキャンプ」です。

日の里や宗像で生まれたイノベーション！？

試行錯誤の中で活動を推進した結果、

予想を超えた結果が起きています！

私たちが推進する日の里や宗像での取り組みは、一般的な企業や組織の視点からだと「なんでそんなことをやるの?」「なんのためにやるの?」と問われそうな、経済合理性がなく、非効率的に見られがちなモノやコトばかりです。そんなKPIすらも不明瞭な取り組みに対して、プロジェクトファイナンスを組成し、コミュニケーションをデザインしながら、試行錯誤の中で活動を推進してきました。その結果、一般的なセオリーに則ったプロセスからは予測しにくい、興味深く豊かなイノベーションが生まれています。

団地の一室でクラフトビールをついたら地域の会話が増えて世界的な賞を受賞した！



禁止するのではなくルールをいっしょに考えたら、高齢化の進む団地に子供の声に戻ってきた！



団地の一室に木工機械を設置したら、地域の人々が楽しんで家具やオブジェをつくり始めた！



街づくりと地域の小中学校が連携したら、団地の壁がクライミングウォールになった！



拠点が盛り上がったら、おもしろい人が集まってきた自然とインキュベーションが起ころ始めた！



地域の会話量を増やしたら、周辺の戸建住宅が相場より3割ほど高い価格でどんどん売れだした！



これら事実をどう捉えるか？ 私たち自身もまだまだ定量化しきれていない出来事ばかりですが、「ひのさと48ビジネスキャンプ」では、そこに至る試行錯誤のプロセスを共有することで、それぞれのプロジェクトでの課題やお悩みに向き合い、突破するアイデアをいっしょに考えていくセミオーダープログラムをご提供いたします。

1泊2日、48時間の中で対話しながら、

街づくりやものづくり、組織づくりの視点を共有し

事業や商品をいっしょに開発するセミオーダープログラム

ひのさと48ビジネスキャンプは、企業やプロジェクトの規模に関わらず、広くご応募いただけるプログラムです。大きくはベースとなる3つのプログラムの中で、街づくり、ものづくり、組織づくりなどそれぞれのプロジェクトの目標や課題、お悩みについてファシリテートしながら対話する時間を設けます。必要に応じて、さとづくりのプロジェクトの中で得た実践的なナレッジやノウハウ、気づきをシェアし、それぞれの事業に求められる変化にどう活かしていくかをいっしょに考えます。

プログラム1

結果をみるだけではない「さとづくりのプロセス」を共有する視察

私たちが運営する施設である「ひのさと48」を視察いただきます。今起こっている結果だけではなく、そこに至った試行錯誤のプロセスを含めてご覧いただければと思います。この施設を運営するにあたって、日の里や宗像をどう解釈して、どのようなテーマに落とし込んだか。そしてそのテーマを実現するにあたって、どんなチームでどんなお金をかけて、どう運用してきたか。メディアで取り上げられているようなキラキラしたところ以外のたくさんの失敗談もふくめて、お話ししながら視察いただきたいと思います。

プログラム2

個人の「ひっさつわざ」を事業で活かす研修

さとづくりのプロジェクトでは、個人の「ひっさつわざ」をどう活動や事業に活かしていくかを大切にしています。「ひっさつわざ」とは、現状の学校や組織、社会の仕組みの中では必ずしも評価されるものだけではない、それぞれ個人がもつ、その人だけの興味や能力を広く捉える考え方です。組織以前にひとりの人間として自分にはどんな「ひっさつわざ」があるのか。その「ひっさつわざ」をつかって、どんな意味を見つけられるのか。そして、その意味を所属する組織の力を使って、どう後押しできるか。さとづくりプロジェクト以外にも、メンバーが関わる具体的なプロジェクトを例に上げながら、事業への活かし方を共有いたします。



プログラム3

具体的な事業や商品の開発を見据えるパワーミーティング

さとづくりで得た環境やナレッジを、みなさまの事業や商品の開発に活用するパワーミーティングを開催！テーマ別に最適なメンバーをアサインし、さまざまな課題や目標に対するアイデアを提供いたします。

自社の事業の中で地域の学校と連携した取り組みをしてみたい

コミュニケーションデザインや情報発信に力を入れたい

カーボンニュートラル
どの事例について
ディスカッションをしたい

公園や文化施設のおもしろい運営方法に力を入れたい

自分たちのプロジェクトの中でサステナビリティを推進したい

地域のニーズを本質的に捉えた商品開発をしたい

街づくりの中で地域コミュニティを推進したい

街づくりに限らず、事業変革を求められているさまざまなテーマを設定いたします。

※必要に応じて、事前に機密保持契約(NDA)を締結いたします。プログラムを通じて共有された情報やご相談内容がビジネスキャンプ外部に漏れることはございません。

さまざまな立場のプロフェッショナルとして

プロジェクトを開拓してきたユニークなメンバーが

ビジネスキャンプをファシリテート



吉田 啓助

東邦レオ株式会社
カルチュラルエンジニアリング事業部長
さとづくり48 ビジネスプロデューサー



今長谷 大助

西部ガス株式会社 都市リビング開発部
まちづくりソリューショングループ
グループマネージャー
さとづくり48 プロデューサー



嶋根 秀幸

ファウストビート株式会社 代表取締役
人材コンサルタント/スタートアップ支援
さとづくり48 事業プロデューサー



牛島 玄

西部ガス株式会社 都市リビング開発部
まちづくりソリューショングループ
さとづくり48 マネージャー



田中 克奉

東邦レオ株式会社 緑化事業部
さとづくり48 事業プランナー兼
DIY マネージャー



馬場 愛里

西部ガス株式会社 都市リビング開発部
まちづくりソリューショングループ
さとづくり48 事業プランナー



馬込 賢太郎

東邦レオ株式会社
さとづくり48 プロジェクト
プロパティーマネージャー
ひのさとブリュワリー醸造長



成富 倫子

西部ガス株式会社 都市リビング開発部
まちづくりソリューショングループ
さとづくり48 事業プランナー



三田 豊

株式会社 NI-WA ディレクター
ユリックス事業プロデューサー



原 いくみ

西部ガス株式会社 都市リビング開発部
まちづくりソリューショングループ
さとづくり48 事業プランナー



坂口 裕太

東邦レオ株式会社 緑化事業部
さとづくり48 ファームマネージャー



成田 ひかる

東邦レオ株式会社
カルチュラルエンジニアリング事業部
ユリックスコミュニケーションディレクター



久保 春奈

8knot.h (エイトノットアッシュ)
離島支援プロデューサー
さとづくり48 伴走パートナー



杉山 耕太

株式会社 ペンギン島
さとづくり48 アートディレクター
グラフィックデザイナー



熊井 晃史

株式会社 ペンギン島
さとづくり48 ファシリテーター
エデュケーションプランナー



渡部 晋作

株式会社 ペンギン島
さとづくり48 クリエイティブディレクター
プランナー

ビジネスキャンプ参加特典

ビジネス上必要な関係を積極的に斡旋

ひのさと48ビジネスキャンプを通じて一期一会でない関係が生まれたらと思います。そのために受講いただいた皆さまが、それぞれの「ひっさつわざ」でつながりあえるよう、さまざま場面で関係を積極的に斡旋いたします。仕事でもプライベートでも、人生の中で必要に応じた関係づくりを後押しいたします。

Co-Doingスペース「さとのひ WONDER BASE」 ドロップイン利用チケットをプレゼント

宗像も日の里も、一度来たくらいでは消費しきれないおもしろさがあります。これまでの視察に参加してくれた方々のほとんどがもう一度ゆっくり来てみたいとおっしゃってくれます。そんな後押しになればと、ひのさと48で運営する仕事や趣味に関わり合う Co-Doing スペース「さとのひ WONDER BASE」のドロップイン利用チケット（2 回分）をプレゼントいたします！ぜひ何度も訪れて、2000年の歴史の中で紡がれた土地の暮らしを体験してみてください。



ビジネスキャンプ日程のイメージ

1. 参加申込

お問合せいただきましたら、事前オリエンテーションに向けてのやり取りをご連絡いたします。

2. 事前オリエンテーション

事前オリエンテーションは、顔合わせを兼ねて、ひのさと 48 時間ビジネスキャンプの参加目的を整理し明確にする時間です。ビジネスキャンプ受講の 1 週間くらい前を目安にオンラインで1時間程度を予定しています。事前に一度話をする機会を設けることで、ビジネスキャンプ当日の朝から距離を縮めて話ができる状態を目指します。

3. ひのさと 48 ビジネスキャンプ当日

事前オリエンテーションからアレンジした当日のプログラムを実施いたします。ひのさと 48 もですが、宗像市全体を移動しながら全身でさまざまな現象を感じていただきながら進行いたします。

4. ビジネスキャンプ終了後も関係ネットワークでつながりあう

ひのさと 48 ビジネスキャンプでは、受講いただいた皆さまのそれぞれの「ひっさつわざ」でつながりあう関係ネットワークを構築し、必要に応じて関係づくりを後押しいたします。

受講費用の一部は地域のために活用いたします

ひのさと 48 ビジネスキャンプは、さとづくりのプロジェクトの中で地域の皆さまとの対話の中で得たノウハウや気付きを価値として提供いたします。ビジネスキャンプ受講を通じて皆さまからいただく費用の一部は、プロジェクトを通じて、日の里や宗像市の環境や風土、文化維持のために、さまざまな形で還元させていただければと思います。

これまでに、こんな方々が視察に来てくださいました！

公営団地を経営・
運営する団体

住宅団地が行政区内にある
地方自治体

教育機関

大手
ハウスメーカー

大手インフラ企業
(交通、通信、エネルギー等)

etc...

仕事に対する価値観が変わった！プロジェクトに対する姿勢が積極的になった！など、日の里の活動に触れることでポジティブに変化したというたくさんのご意見やご感想をいただいております。

地域の生態系こそが社会資産？

どう後押しし、活かしていくかが企業活動に求められる時代です。

高度経済成長の中で、人が安心して住まう場所をつくるために日本全国に 3000 箇所にあふ団地住宅が建設されました。年月が経ち、建てものも住む人も高齢化する中で、それらを利用する数は徐々に減ってきています。日の里団地も同じで、最盛期には 2 万人が暮らしを共にしていましたが、今はその半数程度に減少し、空き部屋も増えてきているという状況です。ただ、そこには、50 年の歳月の中で育まれた文化や関係性など、いわゆる建築的なハード以外の目には見えにくい社会資産があるのではないのでしょうか。そんな資産を多様に捉えて、どう後押しし、どう活かしていくか。

それがこれからの街づくり、ものづくりに求められる視点や考え方であり、企業や行政など価値を提供する側の姿勢そのもののアップデートにも社会からの期待が集まっています。しかし、都心の会議室で話をしてもすでに世の中に存在するありきたりな意見やアイデアが出てくるだけ。都心から離れた人の生活の場所に近いこの環境だからこそ出てくる意見やアイデアがあります。街づくりや地方創生などのクリティカルな業種だけでなく、さまざまな目標や課題を抱えている方々に「ひのさと 48 ビジネスキャンプ」をご活用いただければと思います。まずはお気軽にお問い合わせください。

こんな方々に届いてほしい

地方創生や、街づくり、不動産開発、エリアマネジメントなどで現状抱えている課題を相談したい方。

スタートアップや新しいものづくり、サービスの開発で、人の生活や暮らしの中からニーズを捉えたい方。

組織やチームの立ち上げや運営、モチベーションコントロールなどの課題をご相談したい方。

既存事業の立て直しや、新しい視点で事業を見直し、再建したい方。

サステナビリティや、ESG などこれからの社会の中での企業姿勢や発信について考えている方。



参加ご応募

参加ご応募は右下 QR コードの先にある申し込みフォームに必要事項をご記入の上ご応募ください。

お問い合わせ

ひのさと 48 ビジネスキャンププレスリリースについて
担当 東邦レオ株式会社 吉田 啓助

